



宮崎大学 卒後臨床研修センター通信

Vol.2
2009年12月

発行：卒後臨床研修センター



医局合同説明会 開催!

9月12日(土) 18時30分より、宮崎観光ホテルにて卒後臨床研修センターと専門医養成プログラム連絡会主催で医局合同説明会を開催しました。

日頃ゆっくりとお話したくてもなかなか出来ない先生方へ、診療科と研修医との出会いの場として今年初めての試みでしたが、診療科等(1診療科上限2名との制約あり)から35名、1・2年次研修医30名、計65名の参加がありました。

会の主催者である卒後臨床研修センター長 岡山教授と専門医養成プログラム連絡会コーディネータ 竹島教授からの御挨拶の後、1診療科2分間の説明会開始となりました。参加診療科からは医局への熱い思いの込められたアピールや先輩医師からの豊富な経験談と励ましの言葉があり、最後は参加者全員で記念写真撮影を行いました(H P上に掲載中)。

この場を借りて参加して頂きました先生方に感謝申し上げます。

説明会後に行ったアンケートからも概ね好評の評価を頂きましたが、時期や方法等、検討すべき事項もあり、今後の開催においてセンター内で調整をしていきます。



参加者先輩からのメッセージ



膠原病・感染症内科
橋場 弥生

研修医の皆さんの質問に答えられる、また直接各科の先生とお話して雰囲気を知ってもらう時間としてとてもよい機会だったと思います。今回の場所も移動しやすくてよかったですが、もっとざくばらんな場所でもいいですかね? (^^)



小児科
木許 恭宏

小雪はあんなことになり(ドラマ)、小児科の良さをアピールできたかどうかは微妙なところですが、研修医にとって自分の進むべき道を考えるにあたり、このような機会があるのは大変良いことだと思います。来年もぜひ続けてください。



第二内科
橋本 神奈

研修医の先生方とは勧誘以外の世間話を中心となって、なかなかアットホームな場になっていたことが良かったと思っています。毎年、宮崎で就職する先生が少なく、各科スタッフ不足で悲鳴が上がっていますが、元々の人数が少ないからこそ、自分達の『〜科』を作っていくいい機会なのではないでしょうか? 皆さん、一緒に頑張っていきましょう。



泌尿器科
永井 崇敬

「未来がかかってる、しっかりやって来い。」教授にいわれました。過度の重圧がかかりました。数分で泌尿器科の魅力を語るのは難しすぎました。率直に思ったことは、みなさん、宮崎に残ってほしいと思いました。泌尿器科はとても面白いです。しかし、全員泌尿器科になってもらうより、やはり、内科や外科医も増えてもらわねば困ると思います。

100人宮崎で就職し、30人が泌尿器科に入局。そんな未来が必ずくると信じてます。



協力型臨床研修病院・研修協力施設 紹介 ①

協力型 県立延岡病院

本院は、病床数460床、診療19科、平均在院日数15日の急性期型病院であり、宮崎県北部医療圏と日向入郷医療圏の2つの医療圏約25万人の二次・三次救急医療を担っています。各診療部門には、病理指導者と救急指導者各1名を含む気鋭の指導医が揃っており、一次・二次のありふれた疾患のプライマリ・ケアから、多発外傷や循環器疾患、脳神経疾患など高度医療を必要とする重篤な疾患の診断・治療にわたる、他の地域・病院では決して経験できない貴重な臨床経験を得ることが可能です。明日の地域医療を先導する有意の諸君をお待ちしております。



協力型 古賀総合病院

当院は宮崎市にある363床の一般急性期病院です。"この病院で最も大切な人は患者さんです"という理念の下、地域の中核病院の役割を担っています。腎センター、周産期センター、精神科、検診センター等も併設しますが、市中病院ですので、一般的な疾患を診療する機会が多く、プライマリ・ケア研修としても適しています。後期研修制度もあり学会教育施設として専門医資格取得も可能です。モチベーションの高い人材を求めています。



協力型 宮崎善仁会病院

当院は、日本救急医学会認定施設と日本プライマリ・ケア学会認定施設でもあり、救急と総合診療の両立を目指します。信念は、24時間365日、断らない救急医療です。専任医師3名で受け入れ体制を作り、看護師・検査・レントゲン技師も当直体制を取っています。

当院の救急総合診療での卒後研修にあたっての目標を以下に示します。

- ①日本の標準的ガイドライン(ICLS/JATEC/JPTec等)に沿った診療を身に付ける。
- ②しっかりとした重傷度分類を身に付ける。
→一見軽症そうに見える患者の中にいる重症患者を見逃さない!
- ③制限の中での医療を実践する(限られた時間・医療資源等の中での医療を展開する)。
- ④地域の医療の現状を把握した救急医療を展開する。
- ⑤教育機関として大学と連携した医療・医学を展開する→臨床解剖実習を行います。
- ⑥専門医へのコンサルト(含む転院)のタイミングを適切に判断・搬送する。
- ⑦プライマリ・ケアに必要なCommon diseaseの治療法、外科的処置を習得する。



協力型 潤和会記念病院

潤和会記念病院では外科・麻酔科・脳神経外科救急とおもに外科系臨床科で前期臨床研修を受け入れている。平成21年度までにそれぞれ18名、21名、3名の研修医が当院での研修を修了した。指導は1対1で行い、実地診療を通して基本的な知識と手技の習得はもちろんのこと当院の理念である"人間愛"のある医師、そして経験した貴重症例を学会発表することができる科学者としての医師が育つことを目標に臨床研修の指導を行っている。



協力施設 五ヶ瀬町国民健康保険病院

当院は県北山間部の小さな町の小さな病院(54床)で、町内唯一の医療機関として疾患だけでなく住民、学校、職場等検診、予防接種など町民の健康維持のため活動している。高齢者の一人、二人暮らしの人を医療難民にしないのも課題である。過疎地の医療実態を肌で感じていただきたい。外科2内科2の医師が指導にあたり、急患や慢性疾患への対応を一緒に考える。消化管内視鏡、エコー、CT、麻酔、手術あり。住宅完備し手ごろな山歩き、冬のスキーなど環境は良い。ワイン、焼酎がうまい。一度来る価値あり。



協力施設 串間市民病院

串間市民病院は、病床数120床で常勤医師は12名です。内科には5名の医師がおり、うち3名は消化器内科専門医です。日本消化器病学会認定施設、日本肝臓学会認定施設を取得しています。当院は、串間市唯一の救急指定病院です。串間市における救急車の約90%が当院に搬送されております。指定医とのダブル当直で救急医療を学ぶことが可能です。消化器疾患以外にもさまざまな症例を経験することにより、医師としての将来に役立つものと思います。





シミュレータ講習会開催のお知らせ



現在、臨床技術トレーニングセンター（医学部 福利棟2階）では、特に取扱いが難しく高額なシミュレータについて、指導医の先生方を対象に、学生や研修医等の指導に活用して頂くために、操作説明会を順次開催しています。受講後には「受講証」をお渡しし、それを有している方は以後自由に取扱い頂けます。これまで消化管内視鏡、気管支鏡、血管内インターベンションの各シミュレータ説明会を実施し、今後もACLSや中心静脈穿刺等を開催予定です。FC等で随時案内します（医学教育改革推進センター：内線2401）。



研修医マッチング

平成22年度研修開始を予定している方を対象に、研修先病院の希望を踏まえ、一定の規則に従ってコンピューターにより組み合わせを決定する「臨床研修マッチング」が行われ、歯科医師は10月27日、医師は10月29日に結果がそれぞれ発表されました。

医 師

自主デザイン研修プログラム …………… 25名
小児科・産婦人科研修重点プログラム …… 2名

歯科医師

歯科臨床研修プログラム …………… 8名



平成22年度 中九州三大学病院合同専門医養成プログラム

来年度に向けて、三大学連携8専門医と宮崎大学単独18専門医養成プログラムを整理しました。お忙しい中、各診療科の担当の先生方には、大変なご迷惑をおかけしましたが、宮崎大学医学部附属病院として以前にも増して整理されたプログラムとして統一することができました。詳細は、卒後臨床研修センターホームページに、専門医養成として掲載しておりますので、ご覧ください。冊子も準備していますので御希望の方は連絡願います。

●三大学連携8プログラム（本学の特色も別途記載）

- ・脳神経外科専門修練プログラム
- ・呼吸器内科専門修練プログラム
- ・循環器内科専門修練プログラム
- ・小児科専門修練プログラム
- ・総合診療専門修練プログラム
- ・救急科専門修練プログラム
- ・産科・婦人科専門修練プログラム
- ・整形外科専門修練プログラム

●宮崎大学医学部附属病院（単独プログラム）

- ・消化器内科専門修練プログラム
- ・腎臓内科専門修練プログラム
- ・血液内科専門修練プログラム
- ・膠原病・感染症科専門修練プログラム
- ・神経内科専門修練プログラム
- ・内分泌・代謝内科専門修練プログラム
- ・外科専門修練プログラム
- ・消化器外科専門修練プログラム
- ・呼吸器外科専門修練プログラム
- ・心臓血管外科専門修練プログラム
- ・精神科専門修練プログラム
- ・眼科専門修練プログラム
- ・皮膚科専門修練プログラム
- ・耳鼻咽喉科専門修練プログラム
- ・泌尿器科専門修練プログラム
- ・麻酔科専門修練プログラム
- ・放射線科専門修練プログラム
- ・病理専門修練プログラム



行事案内

2009		2010	
12月5日(土)	●マッチ者・1年次・2年次への研修説明会 ●中九州三大学病院合同GP 「循環器セミナー」(宮崎市)	2月6日(土)～7日(日)	●第103回 歯科医師国家試験
上旬から中旬	●1年次面談	13日(土)～15日(月)	●第104回 医師国家試験
19日(土)	●中九州三大学病院合同GP 「脳血管内治療講習会」(宮崎市)	中旬	●平成22年度1.2年次研修医 □ーテート決定
19日(土)～20日(日)	●指導医養成講習会(宮崎市)	3月上旬 3月29日(土)	●研修管理委員会(修了判定) ●歯科医師・医師国家試験合格発表
23日(水)	●卒後臨床研修センター忘年会	4月1日(木)～7日(水)	●オリエンテーション



先生紹介



卒後臨床研修センター教育担当助教
芦塚 伸也先生

所属：第一内科 ストレス解消法：宴

長崎生まれの35歳。嫁さんと娘が二人。特技は迷子。友人の勧めで宮崎医大に入学し、先輩に誘われサッカー部へ。先輩に摘まれ第一内科に入局し、先輩の勧めで大学院へ。1年間の国内留学の後、乗せられて卒後臨床研修センターのスタッフに。

研修医の皆さん、将来に対する不安で一杯のようですが、大丈夫、この世はケセラセラ。行雲流水。特技は迷子ですが何か？



卒後臨床研修センター教育担当助教
旭吉 雅秀先生

腫瘍機能制御外科（第一外科）の旭吉雅秀です。卒後臨床研修センター所属ではありますが、病棟業務や手術等の忙しさにかこつけてほとんどそれらしい仕事をしていないのが現状です。そんな仕事のストレスは趣味のジョギングや犬の散歩で解消しています。少しでも多くの方に宮崎での医療に携わって頂きたいと願っております。小松先生をはじめ、みんなでそのお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願いします。



問 い 合 わ せ 先

宮崎大学医学部総務課 卒後臨床研修係 内線：2386

〒889-1692 宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200

TEL 0985-85-1864 FAX 0985-85-3101

E-mail: sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp